(C)河北新報社

工大―東北大　2回表工大2死一、三塁、郷家が左越えに3点本塁打を放つ

工大勝ち タイに

仙台大は勝ち点1

仙台六大学野球

春季リーグ第2節第2日は19日、仙台市の東北福祉大球場で東北工大―東北大、宮城教育大―仙台大の各2回戦があり、工大が勝って1勝1敗のタイとし、仙台大は連勝で勝ち点1を挙げた。

工大は二回に登嶋の適時打で勝ち越し、さらに郷家の左越え3点本塁打で差を広げた。仙台大は一回に瀬川の適時二塁打で先制。三回は井上のソロ本塁打で加点し、勢いに乗った。

第2節第3日の20日は同球場で、東北大―工大の3回戦が行われる。

工大 投打に圧倒

工大―東北大2回戦（1勝1敗）

工大	1	4	0	0	0	0	0	1	7	13
東北大	1	0	0	0	1	0	0	0	2	3

（八回コールドゲーム）

勝 米沢1試合1勝
敗 対馬1試合1敗

工大	打	安	点
(中) 菅井	3	2	0
(一) 山田	5	1	1
(指) 登嶋	4	2	1
走指 只野	0	0	0
打指 千葉	0	0	1
(三) 郷家	6	2	5
(二) 梅寺	0	0	0
(左) 照井	2	0	0
(左) 中善寺	2	1	1
打左 利根川	1	1	0
(遊) 佐藤丈	4	1	1
(右) 渡辺	3	0	1
(捕) 藤本	5	3	1
振球犠併残			
2 11 3 1 12	35	13	12

東北大	打	安	点
(中) 本郷	2	0	0
(遊) 田村	3	0	0
(右) 長崎	3	2	1
(捕) 浜岡	4	2	1
(指) 木村	2	0	0
打指 山下	2	0	0
(一) 笠原	3	0	0
(三) 斎藤	3	1	0
(二) 真谷	2	0	0
(左) 岩槻	3	0	0
振球犠併残			
3 3 2 1 6	27	5	2

三 郷家　二 藤本　盗 本
失 郷2、菅井2　失 笠
原2、郷家、斎藤
暴 藤生　逸 浜岡
時 2時間41分

投手	回	打	安	責
米沢	8	32	5	2
対馬	2	15	5	5
下村	3	11	1	0
冨久田	2⅓	15	5	4
藤生	⅔	8	2	3

宮教大	打	安	点
(二) 古川	3	1	0
(左) 磯谷	2	0	0
(捕) 千葉虎	2	0	0
(中) 金	3	1	1
(指) 宮原	3	1	0
(遊) 芳賀	3	0	0
(一) 吉田	1	0	0
打一 藤田	1	0	0
(右) 荻原	1	0	0
(右) 寺崎	2	0	0
(三) 鈴木	2	0	0
振球犠併残			
6 1 1 0 3	23	3	1

仙台大	打	安	点
(指) 吉沢	4	2	0
打指 今北	0	0	1
(左) 井上	4	3	1
(右) 斎藤	3	0	0
打右 内藤	0	0	0
(一) 瀬川	4	3	5
(中) 今野悠	4	1	0
(遊) 新保	4	1	0
(二) 服部	2	0	0
打二 谷口	2	1	0
(三) 広川	2	1	0
打 石川	1	1	0
(捕) 井尻	3	1	0
振球犠併残			
3 4 0 0 11	33	13	7

二 瀬川、千葉虎、広川
失 崎、荻原　盗 斎藤、近藤
時 2時間5分

投手	回	打	安	責
近藤	5	31	11	6
山田	⅔	6	3	1
田中	5	18	3	1
菊池	1	4	0	0
今野一	1	3	0	0

本 郷家1号③（対馬）

【評】工大が投打に圧倒した。1―1の二回、登嶋の右前適時打で勝ち越し、さらに郷家の左越え3点本塁打で引き離した。八回は打者13人の猛攻で7点を挙げた。先発米沢は5安打に抑え、8回2失点と好投した。東北大は4投手が計13安打と打ち込まれた。

○…郷家3点本塁打、打線爆発呼ぶ　工大の郷家が3点本塁打を放ち、打線爆発のきっかけとなった。リーグ戦初本塁打の2年生は「いい形で追加点を奪えた」と笑顔で振り返った。

二回に1点を勝ち越し、なお2死一、三塁で迎えた第2打席。内角の直球を捉えると、打球は左翼席へ。「詰まったが、いい打球角度だったので入ると思った」と言う。

チームは第1節で2連敗し、今節も先勝を許した。今季初勝利で3戦目に持ち込み、「相手より強気で臨みたい」と郷家。沈んでもおかしくなかった雰囲気を4番が一打で振り払った。

工大・米沢（8回2失点と好投し、初登板で初勝利を飾る）「立ち上がりはボール先行で苦しかったが、中盤以降はカーブが決まり、テンポ良く投げることができた。二回に援護点をもらい、楽になった」

仙台大 コールド

宮教大―仙台大2回戦（仙台大2勝）

宮教大	0	0	0	1	0	0	0	1	1
仙台大	1	0	0	3	0	2	1×		8

（七回コールドゲーム）

勝 田中1試合1勝
敗 近藤2試合2敗
本 井上1号①（近藤）

【評】仙台大がコールド勝ち。一回に瀬川の左越え適時二塁打で先制した。三回は井上のソロ本塁打で加点。2―1の四回は敵失や瀬川の2点右前打で3点を奪い、突き放した。先発田中は無四球で5回1失点。宮教大は四回に金の左前打で1点を返すのがやっとだった。

○…1年井上、3安打躍動　仙台大の1年生井上が初めて先発出場し、右越えソロ本塁打を含む3安打1打点と躍動した。「緊張したが、三振もオーケーのつもりだった」。開き直りの姿勢が奏功した。

思い切りの良さが光った。三回の本塁打は内寄りに入った初球のチェンジアップを捉えた。「初球のストライクに（ヤマを）張った。打った瞬間、入ると思った」。一塁を回ると、右人さし指を掲げて喜んだ。

前日、同学年で3安打2打点と活躍した吉沢に刺激を受けた。「寮で日頃からよく話す仲。自分も一発やってやろうと思った」と得意顔で語った。

仙台大・瀬川（1年生の4番で3安打5打点の活躍）「（球場への）移動のバスの中で先発出場を伝えられ、とてもびっくりした。昨日は途中出場で二ゴロだった。今日はコーチの助言を受け、逆方向へのイメージで打った」